

令和3年度 加賀市当初予算概要

～コロナ禍を乗り越えスマートシティへ～

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 683 億 5,670 万円 (前年比 +7 億 8,320 万円 +1.2%)

2 一般会計予算 344 億 8,900 万円 (前年比 +7 億 400 万円 +2.1%) <地方財政計画の伸び率 Δ1.0%>

※参考 借換債を除く場合 332 億 1,818 万円 (前年比 +9 億 3,516 万円 +2.9%)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項に据え、市民の健康と暮らしを守り、市内経済の回復・発展を図りながら、従来からの「将来への備え」と「成長戦略」の2つの柱を基本とし、「スマートシティ加賀」の実現に向けた政策を積極的に推進することに加え、加賀温泉駅周辺施設整備事業費（前年比+3 億 319 万円）や環境美化センター附帯施設等整備事業費（前年比+2 億 6,560 万円）などが増加し、予算規模は前年比で2.1%増加している。（歳入歳出に同額が計上される借換債を除く実質の規模では2.9%増加）

主な歳入

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	76 億 7,960 万円	(Δ 17.0%)	コロナ禍の影響による市民税の減少、国の政策による固定資産税の減免による減少
② 地方譲与税及び交付金	29 億 524 万円	(+ 31.3%)	固定資産税の減免に対する地方税減収補填特別交付金の皆増
③ 地方交付税	74 億 4,400 万円	(+ 4.5%)	市税等の減少に伴う増加
④ 国庫支出金	54 億 5,841 万円	(Δ 4.7%)	加賀ごみ処理施設(焼却施設)・リサイクルプラザ基幹的設備改良費補助金の減少
⑤ 県支出金	20 億 1,530 万円	(+ 2.0%)	選挙事務委託金(衆議院、県知事)の皆増
⑥ 繰入金	18 億 8,721 万円	(+ 29.9%)	下水道事業会計への繰出しに係る、上水道事業会計からの繰入れの増加 (うち、財政調整基金の取り崩し 8 億 4,500 万円 (+ 43.2%))
⑦ 市 債	55 億 2,362 万円	(+12.2%)	臨時財政対策債の増加 (うち、臨時財政対策債 13 億 8,230 万円 (+48.7%)) (うち、借換債 12 億 7,082 万円 (Δ15.4%))

主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	51億6,057万円	(+ 2.0%)	職員数増加による職員給与費の増加
② 扶助費	66億9,074万円	(△ 1.5%)	医療扶助費の減による生活保護扶助費の減少
③ 公債費	50億5,367万円	(+ 5.5%)	ほっと石川観光プラン推進ファンド分の一括償還の増加
④ 物件費	49億9,470万円	(+ 6.2%)	選挙費(衆議院議員、県知事、市長・市議会議員)の増加
⑤ 補助費	19億9,431万円	(+ 3.6%)	多子世帯等児童生徒給食助成費、多子世帯放課後児童クラブ利用助成費の増加
⑥ 投資及び出資金	9億6,864万円	(+ 32.1%)	下水道事業会計、病院事業会計への出資金の増加
⑦ 投資的経費	46億1,907万円	(△ 3.7%)	加賀ごみ処理施設(焼却施設)・リサイクルプラザ基幹的設備改良工事費の減少

3 特別会計予算(5会計) 162億6,510万円 (前年比 +7,360万円 +0.5%)

(1) 国民健康保険特別会計 74億5,850万円 (前年比 +1億270万円 +1.4%)

前年比で被保険者数の増加(R2 13,793人⇒R3 13,900人 +107人)が見込まれることなどから、保険給付費の増加を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 9億8,290万円 (前年比 △770万円 △0.8%)

前年比で被保険者数の減少(R2 12,100人⇒R3 11,900人 △200人)が見込まれることなどから、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の減少を見込む。

(3) 介護保険特別会計 75億1,350万円 (前年比 △950万円 △0.1%)

前年比で第1号被保険者数の減少(R2 22,662人⇒R3 22,582人 △80人)及び要介護認定者数の減少(R2 3,547人⇒R3 3,510人 △37人)が見込まれることなどから介護保険料収入及び保険給付費の減少を見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1 億 2,500 万円 (前年比 Δ 440 万円 Δ 3.4%)

コロナ禍の影響により、前年比で総湯及び古総湯の事業収入の減少を見込むが、これらの施設の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 8,520 万円 (前年比 Δ 750 万円 Δ 3.9%)

コロナ禍の影響により、前年比で源泉事業及び菊の湯事業収入の減少を見込むが、これらの施設の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

4 企業会計予算 (3会計) 176 億 260 万円 (前年比 +560 万円 \pm 0.0%)

(1) 病院事業会計 94 億 8,760 万円 (前年比 +7,240 万円 +0.8%)

コロナ禍の影響により、前年比で医業収益の減少を見込むが、市医療センターの適切な運営により安定した地域医療の確保を図る。

(2) 水道事業会計 41 億 5,600 万円 (前年比 +5,520 万円 +1.3%)

大口の需要に伴い、前年比で給水収益の増加を見込むとともに、水道事業ビジョンに基づき、老朽化した水道管や水道施設の更新事業を行う。

(3) 下水道事業会計 39 億 5,900 万円 (前年比 Δ 1 億 2,200 万円 Δ 3.0%)

コロナ禍の影響により、前年比で営業収益の減少を見込むが、作見町や白望台で必要な管渠整備事業を行う。